

2011年9月24日(土)

13:30 開場 / 14:00 開演

東京オペラシティ・リサイタルホール

(京王新線「初台駅」直結、東京オペラシティタワー B1F)

全席自由 4,000円

スペイン・ギタリスト招聘記念公演

[プログラム]

J.S.バッハの音楽を軸に、出演者の母国スペイン、ベネズエラ、日本、それぞれの国の言葉が織りなす歌物語り・・・

アヴェ・マリア (バッハ/グノー)、ヒロシマという名の少年 (武満徹)、ベネズエラの歌
フルートとオブリガート・チェンバロのためのソナタ 短調 BWV1030 (バッハ)、さくら (横尾幸弘)
からたちの花 (詩: 北原白秋) 初恋 (詩: 石川啄木)、鳥の歌 (カタルーニャ民謡) 他



ハビエル・カドゥエラ
ギター



小澤章代
チェンバロ



コロネりか
ソプラノ



明石現
音楽監修・11弦ギター



遠藤尚子
フルート



浅井透麻
俳優



Aya
ナビゲーター

「歌と花の溢れる未来の街」という問いかけ

歌からはじまる国語を持つ日本という国。
歌は、感情のほころび、ことばという祈り...
言葉で伝えること、言葉で人の心を和げること、弓をひかないこと...、
何より大切なことと、...
花は、愛しいというこころの現れ。
心に花が咲き、人は生きる力を得ます。
愛しいという感情が、絶望から希望へと人のこころを運ぶのです。
生きる道ですべてを失う時、人のこころの遠いどこかで、歌がなり、花が咲きます。
焦土と瓦礫の前に起こる感情は、絶望から、愛しいという感情を探すこころ...
絶望の淵で、人は、花と歌を探します。

探して下さい、歌と花を。
人のこころの奥深く咲く、愛しいという花を。
闇の中に、歌がなり、花が咲けば、闇は終わり、やがて希望という明日が訪れます。

隣人の心の闇の中で、歌となり花となれば...
平和(やわらぎ)という言葉から生まれる未来の街角で再会を果たすために。

words by Aya

詩と室内楽

平和・芸術プログラム
明石現 音楽監修

[チケットお申し込み] 03-5353-9999 (東京オペラシティチケットセンター) / 090-1456-9016 (ザ・ブレスト・カウンシル)

[主催] NPO The Blest Council (ザ・ブレスト・カウンシル) TEL&FAX: 0428-21-4038 Email: aya.jp@df.mbn.or.jp
URL: <http://blestcouncil.web.fc2.com>

[後援] スペイン大使館



ベネズエラ・ボリバル共和国大使館

セルバンテス文化センター東京



本コンサート開催にあたってはスペイン文化省のグラシアン基金より2011年度の助成を受けました